



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月11日

上場会社名 株式会社識学 上場取引所 東
 コード番号 7049 URL <https://corp.shikigaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 広大
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 (氏名) 池浦 良祐 (TEL) 03-6821-7560
 定時株主総会開催予定日 2025年5月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の連結業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	5,369	11.2	330	—	356	—	426	—
2024年2月期	4,829	8.3	△113	—	△111	—	△97	—

(注) 包括利益 2025年2月期 342百万円(—%) 2024年2月期 △148百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	50.06	49.76	18.2	7.5	6.2
2024年2月期	△11.13	—	△4.3	△2.4	△2.3

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 △3百万円 2024年2月期 △2百万円

(注) 2024年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	4,895	3,437	50.2	292.55
2024年2月期	4,560	3,085	49.0	254.58

(参考) 自己資本 2025年2月期 2,459百万円 2024年2月期 2,236百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	168	113	△322	2,312
2024年2月期	△171	△22	△90	2,353

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,170	14.9	405	22.4	394	10.5	457	7.1	52.09

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 2社(社名) 識学グロースキャピタルパートナーズ株式会社、除外 1社(社名) 社、株式会社福島ウェルネス
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期	9,132,996株	2024年2月期	9,132,996株
② 期末自己株式数	2025年2月期	725,001株	2024年2月期	349,101株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	8,521,974株	2024年2月期	8,784,771株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年2月期の個別業績(2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	4,703	10.7	404	—	512	—	450	—
2024年2月期	4,248	5.6	△49	—	14	△89.2	0	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期	52.87	52.55
2024年2月期	0.05	0.05

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	4,031	2,740	66.1	316.83
2024年2月期	3,794	2,460	63.6	274.81

(参考) 自己資本 2025年2月期 2,663百万円 2024年2月期 2,413百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

(売上高)

当事業年度は、マネジメントコンサルティングサービス及びプラットフォームサービスの売上高がいずれも増加したことにより、売上高は前期実績値よりも増加しました。

(営業利益)

営業利益については、売上高の増加の影響により、前期実績値よりも増加しました。

(経常利益)

経常利益については、業務受託収入などが増加したことにより、前期実績値よりも増加しました。

(当期純利益)

当事業年度において投資有価証券の売却益145百万円及び知的財産権譲渡益10百万円を計上しており、前期実績値よりも増加しました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料4ページ目「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善され、緩やかな回復が続くことが期待がされています。一方で、海外における高い金利水準の継続など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような経営環境の中、当社グループは「識学を広める事で人々の持つ可能性を最大化する」という企業理念のもと、組織コンサルティング事業においては、コンサルタント人材の育成、コンサルタントの品質管理を徹底的に行いながら、「識学」が顧客の組織に浸透する状態を実現するべくサービス提供を行ってまいりました。スポーツエンタテインメント事業においては、2024年10月に開幕したBリーグ2024-25シーズンでB1昇格を実現するためにチーム強化への積極的な投資を行いつつ、地域密着型クラブとして認知度向上に向けたマーケティング活動やスポンサー獲得のための積極的な営業活動を行ってまいりました。VCファンド事業及びハンズオン支援ファンド事業においては、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合が新たに8社に対して出資を実施しました。また、新生識学成長支援1号投資事業有限責任組合が、新たに2社に対して出資を実施しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は5,369,123千円（前年同期比11.2%増）、営業利益は330,878千円（前年同期は営業損失113,225千円）、経常利益は356,562千円（前年同期は経常損失111,191千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は426,572千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失97,760千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(組織コンサルティング事業)

① マネジメントコンサルティングサービス

当連結会計年度においては、コンサルタントの育成を継続してまいりました。

この結果、当連結会計年度末時点の累計契約社数は4,686社（前連結会計年度末は4,217社）となりました。当連結会計年度のマネジメントコンサルティングサービス売上高は2,639,465千円（前年同期比5.1%増）となりました。

② プラットフォームサービス

当連結会計年度においては、2020年9月よりサービス提供を開始した「識学」に基づく組織運営が“定着”するまで継続的に運用支援を行う「識学 基本サービス」の拡販に注力してまいりました。

「識学 基本サービス」には、「識学」が組織に徹底できている状態を5つの軸と6段階のフェーズに分類し、フェーズの診断を実施することで顧客が解決すべき組織課題を明確にする機能があります。この機能により明確になった組織課題に対してコンサルタントが課題解決に向けたサポートを実施することによって「識学 基本サービス」に対する顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度末における識学基本サービスの契約社数は631社（前連結会計年度末は699社）、識学基本サービスライトの契約社数は422社（前連結会計年度末は309社）、識学クラウドの契約社数は39社（前連結会計年度末は83社）となりました。

また、当連結会計年度のプラットフォームサービス売上高は2,064,130千円（前年同期比18.67%増）となりました。

上記の結果、当連結会計年度の組織コンサルティング事業における売上高は4,703,595千円（前年同期比10.7%増）、営業利益は528,055千円（前年同期比490,347千円増）となりました。

(スポーツエンタテインメント事業)

当連結会計年度においては、B1リーグへの昇格を目指してチームの強化を行いながら「地域密着型クラブ」として地域スポーツ振興を普及することを目的とした取組みを行ってまいりました。当連結会計年度においては、2024-25シーズンのスポンサー獲得に向けた営業活動及び企業版ふるさと納税のさらなる拡充に向けた地方公共団体との連携強化に努めてまいりました。2024-25シーズンに向けたスポンサーからの受注額は297,163千円（前年同期比6.6%増）と順調に推移したものの、チーム強化に向けたチーム運営費への継続的な投資を行ったことによりコストが先行することとなりました。

上記の結果、当連結会計年度におけるスポーツエンタテインメント事業の売上高は610,043千円（前年同期比10.7%増）、営業損失は66,584千円となりました。

(VCファンド事業)

当連結会計年度においては、「組織力」や「成長する組織への転換」に着目した投資を行い、投資先企業への「識学」導入による組織改善によって成長を支援するベンチャーキャピタルファンドを運営し、新進気鋭スタートアップ投資事業有限責任組合は新たに8社に対して出資を実施するなど、積極的な投資を行ってまいりました。また、売却による投資回収が2件発生しました。

この結果、当連結会計年度におけるVCファンド事業の売上高は55,483千円、営業損失は109,907千円となりました。

(ハンズオン支援ファンド事業)

当連結会計年度においては、投資先のEXIT(IPO/M&A等)によるキャピタルゲインを収益源とする「組織改善支援×金融・ファイナンス支援」という独自性を持ったハンズオン支援ファンドを運営してまいりました。新生識学成長支援1号投資事業有限責任組合が、新たに2社に対して出資を実施しました。

この結果、当連結会計年度におけるハンズオン支援ファンド事業の営業損失は20,442千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は4,895,179千円となり、前連結会計年度末と比較して335,152千円の増加となりました。

(流動資産)

当連結会計年度末の流動資産合計は4,150,368千円となり、前連結会計年度末と比較して347,761千円の増加となりました。これは主に、営業投資有価証券の増加349,794千円によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末の固定資産合計は744,811千円となり、前連結会計年度末と比較して12,609千円の減少となりました。これは主に、長期前払費用の減少56,244千円によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末の流動負債合計は1,346,081千円となり、前連結会計年度末と比較して220,318千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の増加227,296千円によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末の固定負債合計は111,695千円となり、前連結会計年度末と比較して237,408千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少238,870千円によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は3,437,402千円となり、前連結会計年度末と比較して352,242千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加426,572千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,312,577千円（前連結会計年度末比40,876千円減）となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動により増加した資金は168,297千円（前連結会計年度は171,564千円の支出）となりました。これは主に、営業投資有価証券の増加349,794円により資金が減少した一方で、税金等調整前当期純利益569,585千円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動により増加した資金は113,615千円（前連結会計年度は22,834千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出45,160千円がある一方で、投資有価証券の売却による収入200,123千円により資金が増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動により減少した資金は322,103千円（前連結会計年度は90,043千円の支出）となりました。これは主に、非支配株主からの払込みによる収入245,700千円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出295,476千円及び自己株式の取得による支出199,091千円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、少子高齢化による労働人口の減少と、日本の低い労働生産性を背景に、組織マネジメント改善に対する需要は継続的かつ安定的に発生するものと認識しております。この環境下で、“識学を広める事で人々の持つ可能性を最大化する”という経営理念の実現に向け、組織コンサルティング事業を中核に成長戦略を推進します。組織コンサルティング事業では、新規顧客開拓費用を適切に管理しつつ、プラットフォームサービスの拡大による収益基盤の強化を推進します。スポーツエンタテインメント事業では、スポンサー収入、チケット収入、行政とのつながりを活用した受託事業収入の増加を見込んでいます。VCファンド事業およびハンズオン支援ファンド事業では、ファンド運営に必要な費用のみを見込んでいます。以上により、2026年2月期の連結業績については、売上高6,170百万円（前期比14.9%増）、営業利益405百万円（前期比22.4%増）、経常利益394百万円（前期比10.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益457百万円（前期比0.2%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,353,453	2,312,580
売掛金	536,320	574,587
営業投資有価証券	643,497	993,292
商品	4,028	8,918
貯蔵品	1,629	1,632
前払費用	243,603	243,960
その他	30,597	25,614
貸倒引当金	△10,523	△10,217
流動資産合計	3,802,606	4,150,368
固定資産		
有形固定資産		
建物	143,534	144,453
減価償却累計額	△41,287	△46,014
建物(純額)	102,246	98,439
工具、器具及び備品	39,986	39,581
減価償却累計額	△26,204	△25,719
工具、器具及び備品(純額)	13,782	13,861
建設仮勘定	16,720	37,941
有形固定資産合計	132,749	150,242
無形固定資産		
その他	89,965	104,182
無形固定資産合計	89,965	104,182
投資その他の資産		
投資有価証券	83,157	91,272
繰延税金資産	54,395	70,498
その他	397,353	328,815
貸倒引当金	△200	△200
投資その他の資産合計	534,706	490,386
固定資産合計	757,421	744,811
資産合計	4,560,027	4,895,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当連結会計年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	295,476	238,870
未払金	233,715	222,162
未払費用	234,843	280,413
未払法人税等	-	227,296
前受金	292,854	308,011
その他	68,873	69,327
流動負債合計	1,125,762	1,346,081
固定負債		
長期借入金	345,139	106,269
繰延税金負債	3,965	5,426
固定負債合計	349,104	111,695
負債合計	1,474,867	1,457,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	2,287,553	2,287,553
利益剰余金	224,707	651,279
自己株式	△290,245	△490,234
株主資本合計	2,232,015	2,458,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,201	1,157
その他の包括利益累計額合計	4,201	1,157
新株予約権	46,996	76,555
非支配株主持分	801,948	901,090
純資産合計	3,085,160	3,437,402
負債純資産合計	4,560,027	4,895,179

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	4,829,829	5,369,123
売上原価	1,395,379	1,631,927
売上総利益	3,434,450	3,737,195
販売費及び一般管理費	3,547,676	3,406,316
営業利益又は営業損失(△)	△113,225	330,878
営業外収益		
投資事業組合運用益	660	330
受取利息	26	1,043
助成金収入	2,856	14,972
違約金収入	-	6,000
消費税差額	3,036	3,972
その他	6,595	10,878
営業外収益合計	13,173	37,196
営業外費用		
支払利息	5,162	4,523
持分法による投資損失	2,818	3,633
譲渡制限付株式報酬償却	2,499	-
その他	657	3,355
営業外費用合計	11,138	11,513
経常利益又は経常損失(△)	△111,191	356,562
特別利益		
投資有価証券売却益	-	203,022
新株予約権戻入益	35,947	-
知的財産権譲渡益	-	10,000
特別利益合計	35,947	213,022
特別損失		
減損損失	34,022	-
特別損失合計	34,022	-
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△109,266	569,585
法人税、住民税及び事業税	9,939	231,091
法人税等調整額	9,676	△13,721
法人税等合計	19,616	217,370
当期純利益又は当期純損失(△)	△128,882	352,215
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△31,121	△74,357
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△97,760	426,572

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△128,882	352,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,147	△1,740
その他の包括利益合計	△19,147	△1,740
包括利益	△148,029	350,475
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△105,593	423,528
非支配株主に係る包括利益	△42,436	△73,053

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包 括利益累計 額 その他有価 証券評価差 額金	新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合 計				
当期首残高	265,159	2,032,394	322,467	△290,245	2,329,775	12,033	51,778	568,677	2,962,264
当期変動額									
減資	△255,159	255,159			-				-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			△97,760		△97,760				△97,760
自己株式の取得					-				-
新株予約権の発行					-		31,165		31,165
新株予約権の取得及び 消却					-		△35,947		△35,947
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△7,832		233,271	225,438
当期変動額合計	△255,159	255,159	△97,760	-	△97,760	△7,832	△4,782	233,271	122,895
当期末残高	10,000	2,287,553	224,707	△290,245	2,232,015	4,201	46,996	801,948	3,085,160

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包 括利益累計 額 その他有価 証券評価差 額金	新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合 計				
当期首残高	10,000	2,287,553	224,707	△290,245	2,232,015	4,201	46,996	801,948	3,085,160
当期変動額									
減資					-				-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			426,572		426,572				426,572
自己株式の取得				△199,988	△199,988				△199,988
新株予約権の発行					-		32,003		32,003
新株予約権の取得及び 消却					-		△2,443		△2,443
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△3,043		99,142	96,098
当期変動額合計	-	-	426,572	△199,988	226,583	△3,043	29,559	99,142	352,242
当期末残高	10,000	2,287,553	651,279	△490,234	2,458,599	1,157	76,555	901,090	3,437,402

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△109,266	569,585
減価償却費	54,587	64,753
減損損失	34,022	-
のれん償却額	20,774	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,407	△306
受取利息及び受取配当金	△26	△1,288
助成金収入	△2,856	△14,972
知的財産権譲渡益	-	△10,000
投資事業組合運用損益(△は益)	△660	△330
支払利息	5,162	4,523
新株予約権戻入益	△35,947	-
持分法による投資損益(△は益)	2,818	3,633
譲渡制限付株式報酬償却	2,499	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△203,022
売上債権の増減額(△は増加)	△110,891	△38,226
前払費用の増減額(△は増加)	79,908	△357
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△66,781	△349,794
前受金の増減額(△は減少)	△20,638	15,156
未払費用の増減額(△は減少)	2,088	45,570
未払消費税等の増減額(△は減少)	37,192	△21,303
その他	△74,910	80,097
小計	△178,518	143,717
利息及び配当金の受取額	26	1,288
助成金の受取額	2,856	14,972
利息の支払額	△5,162	△4,523
法人税等の支払額	△37,896	△8,663
法人税等の還付額	47,129	21,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	△171,564	168,300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,076	△45,160
無形固定資産の取得による支出	-	△54,597
知的財産権の譲渡による収入	-	11,000
投資有価証券の取得による支出	△6,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	200,123
敷金及び保証金の差入による支出	△7,942	△4,099
敷金及び保証金の回収による収入	-	11,049
その他	△3,815	△4,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,834	113,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△365,476	△295,476
新株予約権の取得による支出	△274	-
自己株式の取得による支出	-	△199,091
非支配株主からの払込みによる収入	303,600	245,700
非支配株主への分配金の支払額	△27,892	△73,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,043	△322,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△284,441	△40,873
現金及び現金同等物の期首残高	2,637,895	2,353,453
現金及び現金同等物の期末残高	2,353,453	2,312,580

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容を基礎とした連結会社ごとの経営管理を行っております。従いまして、当社グループは連結会社別の事業セグメントから構成されており、「組織コンサルティング事業」、「スポーツエンタテインメント事業」、「VCファンド事業」、「ハンズオン支援事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	組織コンサルティング事業	スポーツ エンタテイン メント 事業	VCファンド事 業	ハンズオン 支援ファンド 事業	計		
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	4,248,808	551,020	30,000	—	4,829,829	—	4,829,829
外部顧客への 売上高	4,248,808	551,020	30,000	—	4,829,829	—	4,829,829
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	173,992	—	—	173,992	△173,992	—
計	4,248,808	725,013	30,000	—	5,003,822	△173,992	4,829,829
セグメント利益 又は損失 (△)	37,708	△84,713	△79,655	△7,737	△134,397	21,171	△113,225
セグメント資産	3,880,297	298,496	769,727	186,099	5,134,620	△574,593	4,560,027
その他の項目							
減価償却費	69,417	3,141	—	—	72,558	△17,970	54,587
のれんの償却額	20,495	279	—	—	20,774	—	20,774
のれんの未償却残 高	—	—	—	—	—	—	—
減損損失	30,743	3,279	—	—	34,022	—	34,022
持分法適用会社へ の投資額	—	—	—	29,970	29,970	△29,970	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	3,727	1,348	—	—	5,076	—	5,076

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	組織コンサル ティング事業	スポーツ エンタテイン メント 事業	VCファンド事 業	ハンズオン 支援ファンド 事業	計		
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	4,703,595	610,043	55,483	—	5,369,123	—	5,369,123
外部顧客への 売上高	4,703,595	610,043	55,483	—	5,369,123	—	5,369,123
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	166,697	—	—	166,697	△166,697	—
計	4,703,595	776,741	55,483	—	5,535,820	△166,697	5,369,123
セグメント利益 又は損失 (△)	528,055	△66,584	△109,907	△20,442	331,120	△241	330,878
セグメント資産	2,646,803	278,320	1,330,615	639,440	4,895,179	—	4,895,179
その他の項目							
減価償却費	60,464	4,289	—	—	64,753	—	64,753
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—
のれんの未償却残 高	—	—	—	—	—	—	—
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社へ の投資額	—	—	—	638,348	638,348	△638,348	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	50,695	44,504	—	—	95,200	—	95,200

(注) 1. 調整額は、セグメント間の取引消去が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	254.58円	292.55円
1株当たり当期純利益(△は損失)	△11.13円	50.06円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	49.76円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)(千円)	△97,760	426,572
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)(千円)	△97,760	426,572
普通株式の期中平均株式数(株)	8,784,771	8,521,974
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	51,471
(うち新株予約権(株))	—	51,471
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	第2回新株予約権145口 (43,500株) 第5回新株予約権1,096口 (109,600株) 第6回新株予約権6,000口 (600,000株)

(重要な後発事象)

該当事項はございません。